

えひめ 地域づくり協働体通信

今号では、新居浜市別子山地区の様々な地域課題の改善と地域活性化を目的として立ち上げた「別子山未来プロジェクト」、およびコミュニティ活性化事業の一環で設立された「別子山地域の未来を考える会」について、同会の会長である和田輝世氏に取材しましたのでレポートします。皆さまの地域での活動のご参考にしていただければ幸いです。

新居浜市別子山地区

キーワード：特産品開発、コミュニティ活性化

★別子山について

別子山は、2003年に新居浜市と合併した旧別子山村のエリアで、新居浜市の南方の赤石山系など急峻な四国山地の山々に囲まれた山中に位置している地域です。明治時代には別子銅山で栄え、人口は一時12,000人を超えていましたが、探鉱の中心が新居浜側に移った後は激減し、現在の人口は200人にも満たない状況となっています。



別子山の中心地域

★「別子山未来プロジェクト」について教えてください！

「別子山未来プロジェクト」は、平成26年度に、別子山の地域活性化を目的として発足しました。主な取り組み内容は、次の3事業です。

- ① サトウカエデ育成事業
- ② 朝鮮人参栽培事業
- ③ 媛っこ地鶏育成事業

① サトウカエデ育成事業

平成27年3月に、カナダと似た気候であり栽培の適地であることからサトウカエデの育成事業を開始。1,800本のサトウカエデの苗をカナダから輸入し植樹。サトウカエデの樹液からは、良質のメープルシロップが採取でき、糖化の予防や免疫力のアップの効果が期待できます。



① サトウカエデ育成事業



② 朝鮮人参栽培事業

平成26年度に作付けを開始し、これまでに数千本を植栽。最も健康増進効果が高い6年根の収穫に向け、栽培の育成と管理に取り組んでいます。高いものでは、1本あたり3万円程度の高値で取引されることから数年後には大きな収益の確保が見込まれる期待できる事業と考えています。



② 朝鮮人参栽培事業

③ 媛っこ地鶏育成事業

雛は県内の研究所から仕入れ、飼育し、オスはふ化から90日前後、メスは130日程度で解体し、冷凍保存した上で、新居浜市内の飲食店等に出荷しています。現在、地域おこし協力隊の方が、飼育・管理されており、順調に出荷できています。一羽あたり4,000円程度で販売できることから、短期間で一定の売上が期待できる事業です。



③ 媛っこ地鶏育成事業

★今後の目標や課題などは？

3事業とも育成と管理をする人材が不足しており、今後、増員予定である「地域おこし協力隊」に期待し、事業の拡大を図りたいと考えています。数年後に収穫期を迎えるサトウカエデの育成事業に関しては、樹液が採取できる時期が植樹後10年程度であることから、採取技術を持った人材の育成と安定した販売先の確保が課題であります。

★「別子山地域の未来を考える会」について教えてください！

平成 29 年度に、コミュニティ活性化事業の一環で設立し、10 年先の別子山の姿を地域住民や地域外の方々との対話を通じて希望を持って描くとともに、持続可能な地域づくりを推進することを目的として結成されました。これまでの会議で、今後取り組みの是非が検討される 13 項目が決定されており、主な項目は、次のとおりとなっています。

- ①別子山あけぼの隊の発足
- ②別子山ファンクラブの発起人会
- ③新居浜市内の高校との協働による映画作り
- ④新居浜市内での活性化シンポジウムの計画
- ⑤筏津山荘プラン 他

- ① 別子山あけぼの隊
地域活性化の組織である「別子山あけぼの隊」を結成する予定です。
- ② 別子山ファンクラブ
県内・県外の別子山出身者や、別子山地域を応援したい方に「別子山ファンクラブ」にご加入していただき、広く地域情報の発信を図っていく予定です。
- ③ 新居浜市内の高校との協働による映画作り
現在の別子山地域の状況を後世に残すため、別子山住民にもご参加いただき、新居浜市内の高校と協働して撮影する予定です。
- ④ 新居浜市内での活性化シンポジウムの計画
本年 12 月 22 日に新居浜市内において、地域活性化のシンポジウムを開催する予定です。
- ⑤ 筏津山荘プラン
2012 年に解体した「筏津山荘」を再び観光施設として整備するとともに、1973 年の閉山まで操業していた「筏津抗」を再び見学施設として活用できるよう、新居浜市と今後協議が始まる予定です。



日本最大級のゆらぎの森の「パーゴラ」



グローバルジュニアハイスクールの
別子中学校および小学校



筏津山荘の跡地と筏津抗

★今後の活動について

多様なプランが数多く検討されており、今後、別子山の全住民に対して聞き取りアンケートを実施し、意見集約を図る予定とのことです。地域住民の思いを早期に実現すべく、各々のプランの詳細な計画づくりと実行に向け、期待します。

★取材後記

明治時代後期には、松山市に次ぐ人口規模を誇っていた別子山地域ではありますが、現在は過疎高齢化の先進地となっています。この地域を再び活気のある地域に甦らせるためには、ご紹介しました「別子山未来プロジェクト」と「別子山地域の未来を考える会」が果たす役割は大きく、さらに、地域住民一人ひとりが危機感を持つと同時に、当事者意識を高めていくことが重要であると考えます。別子山地域での活性化に向けた取り組みが、県内各地域で地域づくりに尽力されている皆さま方のご参考になれば幸いです。

この情報誌の関係サイト/「えひめ地域づくり協働体」 [Facebook](#)

地域の活動情報の連絡先にこの情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236 E-mail: chiikiseisak@pref.ehime.lg.jp

(公財) えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200 E-mail: info@ecpr.or.jp